

授業科目 解剖学Ⅰ

【 担当教員名 】		対象学年	1	対象学科	言語	
鈴 木 了、山 田 まりえ		開講時期	前期	必修・選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【 概要 ・ 一般目標 : GIO 】						
解剖学Ⅰでは、人体の基本的構造を全体的に理解し、特に発声発語器官である口腔・鼻腔・咽頭・喉頭について、及び聴覚器官である外耳・中耳・内耳についてそれぞれの構造と機能を理解する。さらに言語と聴覚に関する中枢神経系と末梢神経系を理解する。また頭蓋・顔面部の発生の概略を理解し、口腔・顎顔面部の先天異常の発生を考察する。						
【 学習目標 ・ 行動目標 : SBO 】						
1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。						
2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を概説できる。						
3. 主な骨、骨格筋の名称、位置を説明できる。						
4. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を説明できる。						
5. 消化器系の諸器官、その付属器の名称、位置を説明し、その働きを概説できる。						
6. 呼吸器系、泌尿生殖器系を後制する器官の名称、位置を説明出来る。						
7. 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭を構成する各部位の名称と機能を説明できる。						
8. 外耳・中耳・内耳の構造と機能を説明できる。						
9. 口腔・顎顔面部の発生の概略を理解し、説明できる。						
10. 摂食・嚥下について解剖学的に説明できる。						
11. 中枢神経系、末梢神経系の構成を概説できる。						
12. 聴覚伝導路をコルチ器から大脳皮質まで順にたどることができる。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学序論	解剖学とは	組織学総論	細胞と四大組織	1, 2	講義
2	骨格系	骨の構造と種類	骨の連結		3	講義
3	筋系	筋の構造と種類	主な骨格筋		3	講義
4	循環器系	血管とは	心臓	大循環と小循環	4	講義
5	内臓系- 1	消化器系	呼吸器系		5	講義
6	内臓系- 2	泌尿生殖器系	内分泌系		6	講義
7	感覚器と神経系	感覚器と神経系のあらまし			11	講義
8	発声発語器官- 1	口腔、鼻腔、咽頭			7, 10	講義
9	発声発語器官- 2	喉頭			7	講義
10	平衡聴覚器- 1	外耳と中耳			8	講義
11	平衡聴覚器- 2	内耳			8	講義
12	人の発声	頭頸部、顎顔面部の発生			9	講義
13	神経系- 1	中枢神経系			11	講義
14	神経系- 2	末梢神経系			11	講義
15	神経系- 3	伝導路			12	講義
【 使用図書 】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		入門人体解剖学	藤田恒夫	南江堂	2000・5,000円	
		参考書				
その他の資料		プリントの配布				
【 評価方法 】			【 履修上の留意点 】			
出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、期末試験の総合評価			短期間で広範囲を勉強します。欠席をせず、復習することが重要です。			